

■神奈川県リハビリテーション支援センターの令和3年度事業の概要

神奈川県リハビリテーション支援センター（県委託事業）



実施主体： 社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター

1. 地域リハビリテーション支援事業

地域リハビリテーション支援事業と高次脳機能障害支援普及事業を実施しています。地域リハビリテーション支援事業は大きく3つの事業を実施しています。

1つ目は、人材育成事業（神奈川県リハビリテーション事業団事業）です。14本の研修を企画し9本を実施、新型コロナウイルス感染症拡大により5本を中止しました。また実施した研修全てオンライン研修としました。参加者は募集定員256名に対し314名の参加がありました。評価点は4点満点で3.9でした。特徴として、神奈川県外の参加者が例年より多く見られました。

2つ目は、地域リハビリテーション連携構築推進事業（県委託事業）です。県内2市で開催予定でしたが、人材育成事業同様新型コロナウイルス感染症拡大により1本のみとなりました。

3つ目は、相談事業（県委託事業）です。リハビリテーション専門相談は、当支援センターの専門スタッフが市町村及び地域のリハ関係機関と協働して総合相談・情報提供・技術支援などを実施するものであり、課題の解決のみならず、相談事例を通して医療・介護・福祉及び多職種・多機関による包括的アプローチを発展させることを目的としています。総相談件数は、127件（前年比-13.5%）、新規相談件数76件。訪問件数延べ12回（前年比-61.3%）でした。

訪問相談実施後のアンケート回答では、「支援に役立ったか」、「依頼者の満足度」、すべて「役立った」、「満足」の回答を頂きました。要望感想では、「早急な対応だった。」、「アフターフォローもしっかりしてくださり助かった。」、「具体的指導で助かった。」、「小児と成人、医療と介護の区切りに、リハビリテーション支援センターのような機関や機能があると有難い。」などのご意見をいただきました。

本年度よりICT（オンライン）による相談（8件）を開始しました。

オンライン実施後のご意見として、「オンラインなのに、一人ひとり丁寧に見ていただき有難い、今後も見ていただきたい。」、「オンラインで提案されたことを支援に反映させていただいています。」などをいただきました。

その他、情報提供、関係会議の出席、政令市の地域リハビリテーション提供事業所との連絡会の開催等を行っています。

(1) リハビリテーション研修（人材育成事業）

No	研修名	受講者 延人数	No	研修名	受講者 延人数
1	知的障害者の身体機能の低下への対応	43名	8	視覚障害のある方への支援	中止
2	脊髄損傷者に対する基礎知識と支援の実際	30名	9	脳血管障害の評価と治療	24名
3	排泄ケアの知識と実際	52名	10	セラピストのためのハンドリング入門	中止
4	からだにやさしい介助入門 移乗編	38名	11	からだにやさしい介助 ポジショニング編	16名
5	褥瘡予防セミナー	62名	12	障がいのある方への在宅就労支援	24名
6	コミュニケーション支援の実際	25名	13	摂食嚥下障害のリハビリテーションの実際	中止
7	PT・OTのための臨床動作分析	中止	14	脳血管障害のリハビリテーションの実際 下肢装具編	中止
合計					314名

(2) 地域リハビリテーション連携構築推進事業

オンライン（ライブ配信）

「小田原市におけるリハビリテーション情報提供書を考える～多職種が共有できる情報とは～」

訪問看護師・介護支援専門員・セラピスト、各立場から「欲しいリハビリテーション情報とは？」について講演をしていただき、最後にディスカッションを行いました。

参加者91名

(3) リハビリテーション専門相談（相談事業）

相談依頼元の相談件数（延べ）

障害別の相談件数（延べ）

相談内容別の相談件数（延べ）

区分	件数	構成比
障害者施設	26	20.6%
本人・家族	24	18.9%
居宅介護支援事業所	19	15.0%
障害者相談支援事業所	15	11.8%
訪問看護事業所	12	9.4%
地域包括	8	6.3%
医療機関	8	6.3%
高齢者施設	5	3.9%
市町村	4	3.1%
保健福祉事務所	4	3.1%
その他	2	1.6%
合計	127	100.0%

区分	件数	構成比
神経・筋疾患	28	22.1%
知的障害	24	18.9%
視覚障害	22	17.3%
脊髄障害	11	8.7%
後天性脳損傷 (CVAを除く)	10	7.9%
脳血管障害	9	7.1%
脳性麻痺	6	4.7%
骨関節疾患	5	3.9%
不明	0	0.0%
その他	12	9.4%
合計	127	100.0%

区分	件数	構成比
補装具・福祉用具機器	41	32.3%
医療	32	25.2%
ADL指導	16	12.6%
訓練プログラム指導	12	9.4%
支援内容検討	9	7.1%
介護指導	9	7.1%
環境整備	6	4.7%
コミュニケーション支援	1	0.8%
その他	1	0.1%
合計	127	100.0%

(4) その他

情報提供

広報誌「地域リハビリテーション支援センターだより」を発行（年6回）。ホームページに県内リハビリテーション関係機関情報、研修案内等を挙げています。また、今年度より、お役立ち情報として、機能維持体操等の動画を配信しています。ホームページの総アクセス数は、49,602件（前年比133%）、総動画視聴回数は、11,585回ありました。

2. 高次脳機能障害支援普及事業

障害者総合支援法に基づく高次脳機能障害者の支援拠点機関として高次脳機能障害支援普及事業を行っています。

(1) 拠点機関の支援内容の概要

個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施しています。

個別支援では、診断・評価、リハビリテーションサービス、総合相談、個別マネジメント等を行っています。

地域支援では、地域相談支援機関支援、地域内施設支援、在宅サービス提供者支援等を行っています。

研修では、高次脳機能障害セミナー、地域内研修等を行っています。

連携構築では、当事者団体との連携、地域内相談・就労関連機関との連携等を行っています。

(2) 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の開催

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催しました。

(3) 相談支援

相談件数は、昨年度比で2割ほど減少しています。相談元は、昨年度同様医療機関の割合が多く、家族からの相談及び来院来所による相談件数が減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響によるためと推察しています。

相談依頼元の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
医療機関(外来含)	58	36.5%
本人・家族	53	33.3%
地域相談窓口	32	20.1%
介護保険関係機関	7	4.4%
市町村	3	1.9%
障害者施設	2	1.3%
家族会	1	0.6%
その他	3	1.9%
合計	159	100.0%

障害別の相談件数 件数（重複）

区分	件数	構成比
脳卒中	63	39.6%
成人外傷性脳損傷	59	37.1%
小児脳損傷	6	3.8%
神経難病	0	0.0%
脊損・頸損	0	0.0%
骨・関節疾患	0	0.0%
不明	3	1.9%
その他（低酸素脳症等）	28	17.6%
合計	159	100.0%

相談内容別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
生活課題への対応	845	28.7%
経済・制度利用	697	23.7%
家族支援	409	13.9%
福祉サービス・社会資源	312	10.6%
就労・教育等	292	9.9%
医療	200	6.8%
リハビリテーション訓練	168	5.7%
補装具	14	0.5%
福祉機器・用具	1	0.1%
その他	1	0.1%
合計	2939	100.0%

2) 巡回相談（当事者家族会）

6カ所延べ42回実施しました。延べ参加者は当事者113名、ご家族224名でした。

新型コロナ感染症拡大に伴い2回中止となりました。また、開催方法も、オンラインへの変更、開催時間短縮等感染状況に応じ運営を行いました。

新たな参加も見られ、当事者・家族同士のピアカウンセリング、地域での相談場所としての認識の広がりが見られます。また、地域の支援者の同席による社会資源の情報共有など身近な地域で相談を受けられる体制づくりの一助となっています。

相談支援につながったケースが12件ありました。

(4) 研修会の開催

高次脳機能障害への普及啓発を目的としたセミナーを年4回実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全てオンラインによる研修としました。

評価は、4点満点中3.8～3.9でした。

高次脳機能障害セミナーの受講人数等

NO	研修名	受講者数	評価/4
1	高次脳機能障害セミナー 小児編	50名	3.8
2	高次脳機能障害セミナー 理解編	61名	3.9
3	高次脳機能障害セミナー 実務編	56名	3.8
4	高次脳機能障害セミナー 就労支援編	38名	3.9
	合計	205名	

(5) 神奈川県内の連携構築

- 1) 政令指定都市（横浜市・川崎市・相模原市）との連携
- 2) 自立支援協議会との連携
- 3) 相談支援事業所との連携
- 4) 就労支援機関との連携
- 5) 当事者団体（NPO 法人脳外傷友の会ナナ）との連携

当事業団内に協働事業室として設置されており、ピアサポートや学習活動支援等を行っています。

協働事業室利用者数 396名 本人活動支援 12名

(6) 事例検討会の開催 6回（対面による開催）

参加者延べ111名

参加職種：福祉職・障害施設支援員・相談支援専門員・看護師・作業療法士・ケアマネジャー・行政
医療ソーシャルワーカー・保健師・地域包括相談員・精神保健ソーシャルワーカー
グループホーム世話人・就労支援員・生活支援員など

(7) 高次脳機能障害支援機関 神奈川県内ネットワーク連絡会の開催 2回

県内の高次脳機能障害支援に携わっている機関や事業所間の連携強化やネットワーク化を図り、支援技術の向上に寄与することを目的として参集しています。

(8) 国との連携

- 1) 全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター会議への出席
- 2) 関東甲信越ブロック会議への出席

(9) 県内、県外の研修会等への講師派遣

(10) 神奈川リハビリテーション病院における高次脳機能障害者支援

地域からの相談について、アセスメントに基づき地域継続支援が必要な場合は、地域との連携、当院リハ科の受診・診断や評価、リハビリテーションを行います。特徴として、当院リハビリテーション部の心理科、体育科、職能科による関わりがあります。心理科では、認知面・社会的適応面の評価、障害への対処や認識など適応に向けたアプローチ、地域生活への移行支援等を行っています。体育科では、体育的手法（スポーツ、レクリエーション等）による訓練プログラムを通して、体力・身体機能維改善、注意・判断力などの認知機能の改善に向けた支援を行っています。職能科では、「治療と仕事の両立」「労災患者復職支援」「作業療法による職業リハビリテーション」を提供しています。

詳細は当事業団HPにてご確認ください。